

# 日・インド首脳会談(概要)

平成 25 年 5 月 29 日



5 月 29 日、午後 6 時 4 分から 7 時 35 分まで、安倍総理は、27 日から 30 日の日程で訪日中のマンモハン・シン首相との間で日インド首脳会談を行ったところ、概要以下のとおり(当方:岸田外務大臣、茂木経産大臣、加藤官房副長官他出席)。同会談後、両首脳により「国交樹立 60 周年を超えた日インド戦略的グローバル・パートナーシップの強化」と題する共同声明への署名が行われた。また、両首脳立ち会いの下、八木駐インド大使とワドウ駐日インド大使による、円借款案件「ムンバイ・メトロ建設」(710 億円)の交換公文の署名が行われた。

## 1. 冒頭

安倍総理から、日インド関係は、2006 年に安倍総理とシン首相が合意した「戦略的グローバル・パートナーシップ」に基づき、深化拡大しており、その一層の強化に努力したいと述べた。これに対しシン首相から、日印関係の発展は喜ばしく、現状に満足することなく、更に関係強化に取り組むたいと述べた。

## 2. 二国間関係

(1) 11 月末から 12 月初め頃、天皇皇后両陛下にインドを御訪問頂けるよう、両国間で調整していくことが確認された。

(2) 政治・安全保障分野に関し、二国間の海上共同訓練を一層充実させること、インドによる救難飛行艇 US-2 の導入に向け、合同作業部会を立ち上げること等につき一致した。

(3) 民生用原子力協力に関し、協定の早期妥結に向け交渉を加速させることが確認された。

(4) 経済分野に関し、安倍総理から、インド工科大学ハイデラバード校への支援として約 177 億円の供与を決定した旨伝達。

(5) デリー・ムンバイ間産業大動脈構想やインドの高速鉄道等、大型インフラ分野及びエネルギー分野でも協力していくことを確認。特に、高速鉄道については、ムンバイ・アーメダバード間のルートを念頭に、共同調査を行うことで一致。

(6) 安倍総理から、ビジネス・マッチング等を通じ、インドへの投資拡大を後押ししたいと伝達するとともに、金融・税制や投資面の一層の規制緩和を期待する旨述べた。

(7) 宇宙分野をはじめとする新しい分野において、日インド間で協力することで一致。

## 3. 地域情勢・グローバルな課題

アジアの地域情勢に関する意見交換を行うとともに、国連安保理改革及び軍縮・不拡散等、国際的な問題について引き続き協力を行っていくことを確認。